

講演会

ネオニコチノイドが奪う日本人と魚の未来

■主催/公益財団法人 日本釣振興会 ■共催/北海道新聞HotMedia(釣り新聞ほっかいどう)

近年、ネオニコチノイド系農薬が自然環境や人体に与える影響が問題視されています。北海道内での同農薬の年間出荷量は約40トに上り、川魚減少の一因ではないかといわれています。

公益財団法人日本釣振興会(日釣振)と、週刊釣り新聞ほっかいどうを発行する北海道新聞HotMediaは、7月13日に札幌市の北海道新聞社本社1階「DO-BOX EAST」で、「ネオニコチノ

イドが奪う日本人と魚の未来」と題した講演会を開催しました。講師は、ネオニコチノイド研究会(東京)代表で、昨年「ネオニコチノイド 静かな化学物質汚染」(岩波ブックレット)を出版した医師の平久美子さん。会場に集まった市民ら約50人を前に、私たちの暮らしに潜むネオニコチノイド汚染の実態とその深刻さについて語りました。講演内容を紹介します。



参加者を前にネオニコチノイド系農薬について講演する平さん

90年代に登場した農薬用殺虫剤

ネオニコチノイドは日本人が開発した農薬用殺虫剤です。国内では1990年代に使用が始まり、2000年から07年にかけて急速に普及しました。現在では類似物質を含め11種類が年間400ト以上出荷されており、農業、林業、ゴルフ場、家庭園芸、ペットのノミ取りなど、さまざまな場面で広く利用されています。

ています。

ネオニコチノイドは昆虫など節足動物の脳にあるニコチン受容体に結合して作用します。水に溶けやすく、細胞膜を自由に通過して植物体内に浸透し、殺虫効果を発揮します。環境中に半年以上残留することがあり、動植物体内で分解された後も殺虫作用が持続する場合があります。

生態系への影響深刻

生態系への影響は深刻で、オランダでは使用開始によりハナアブの絶滅が進行したという報告があります。日本でもアカアカネ(赤トンボ)が激減したほか、ウグイやオイカワなど淡水魚の減少が指摘されています。

汚染は海洋にも広がっています。海水に含まれるネオニコチノイドの平均濃度は中国よりも日本の方が高かったという調査結果があります。

胸苦しさを訴える患者が急増しました。04年と05年に大量のネオニコチノイドが森林のためにミキリムシ駆除のために散布された後のことです。妊婦や新生児の尿からも検出されています。これは胎盤を通じてネオニコチノイドが胎児に移行することを示しています。

胸苦しさを訴える患者が急増しました。04年と05年に大量のネオニコチノイドが森林のためにミキリムシ駆除のために散布された後のことです。妊婦や新生児の尿からも検出されています。これは胎盤を通じてネオニコチノイドが胎児に移行することを示しています。



平 久美子(たいら・くみこ)

1957年愛媛県生まれ。神戸大学医学部卒業。専門は麻酔科学、臨床環境医学。現在は東京女子医科大学附属足立医療センター非常勤務、ペインクリニック環境医学外来を担当。2001年から環境農薬中毒研究に従事。東京都在住。

規制の見直し、使用量削減急務

EU(欧州連合)では、中止しても体外に完全こした生態系への影響に排出されるまでには響く人への健康被害が時間がかかりました。しかし、多くのネオニコチノイド製品が使用禁止制度では、こうした慢性的な影響や低濃度暴露の影響が十分に考慮されています。日本では使用禁止の露の影響が十分に考慮されています。次世代のため、農薬登録の見直しを働きかけるとともに、有機農業を推進し、国内でのネオニコチノイド使用量を最小限にする努力が求められています。

コチノイドを使い続けています。輸入食品に含まれる農薬の残留基準値を日本が引き下げることが困難です。生態系や人に対する安全性を国が保証しているわけではなく、農薬登録の見直しを働きかけるとともに、有機農業を推進し、国内でのネオニコチノイド使用量を最小限にする努力が求められています。

全国228地点でネオニコチノイドを検出 牧野・日釣振常任理事が報告

講演会では冒頭、日釣振北海道地区支部の佐藤正基支部長のあいさつに続き、日釣振本部の牧野良彦常任理事がネオニコチノイド系農薬をめぐって日釣振の活動を報告した。

日釣振は1970年に発足し、魚を増やす活動や自然環境の美化保全、マナー・安全対策などに取り組んでいます。会員からは近年「近くの河川でオイカワやウグイ、フナがめっきり釣れなくなった」という声が聞かれるようになりました。その原因を探るため、



活動報告をする牧野常任理事

昔ながらのきれいな河川、多くの魚が戻ってくるように、今後も各県庁と議論を重ねるとともに、科学的データに基づいた正しい情報の発信を進めていきます。

調査結果は日釣振の機関誌「日釣振だより」で見ることができます。
<https://www.jsafishing.or.jp/member/backnumber>